

別紙様式1

県立広島大収受	
大 第	号
22.9.27	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

理事長選考対象者推薦書

平成22年9月27日

公立大学法人県立広島大学
理事長選考会議議長様

推薦者 教育研究審議会委員

氏名 利島 保 

私は、本人の同意を得て、次の者を、公立大学法人県立広島大学理事長選考対象者として推薦します。

(ふりがな) 理事長選考対象者氏名	のがみ ともゆき 野上 智行
現職名又は最終職名	社団法人国立大学協会専務理事
<p>推薦理由</p> <p>野上智行氏は、昭和55年4月旧県立広島女子大学に勤務し、昭和63年10月から神戸大学教育学部に転出後、助教授、教授、発達科学部長、同大学大学院総合人間科学研究科長を歴任され、平成13年神戸大学長となられた後、平成15年の神戸商船大学との統合に見られるように、平成21年3月の任期満了退職までの8年間、国立大学法人化後を含めた神戸大学の運営に強いリーダーシップを発揮されて数々の成果を上げてこられました。また、学長在職中に歴任された数多くの公職、さらに退職後ロンドン大学客員教授に擬される中、国立大学協会専務理事として我が国の高等教育向上の要を担われておられるのも、氏の高等教育に対する見識の高さにあると言えます。</p> <p>専門の科学教育では、数多くの著書論文や国際学会発表等で国内外から高く評価され、加えて国際的な学術文化交流に貢献できる資質を備えておられることは、イタリア共和国よりのカヴァリエール勲章の受章もその証左の一つです。さらに、氏の温厚高潔で人との交わりを大切にされる人柄は、周囲の厚い信頼に支えられたスムーズな大学運営とその成果に示されています。</p> <p>以上、野上氏は、学問的実績のみならず大学経営の多大な実績と大学教育への高い見識と展望を有されるだけでなく、本学並びに本県に深い理解があり、氏が本学の将来を付託するに十分な資質をお持ちであることから、野上智行氏を理事長選考対象者として強く推薦する次第です。</p>	

※推薦理由には、人格、学識、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる能力、法人の経営管理能力について400字程度で記載してください。

※理事長候補者選考の過程で、この推薦書は公表されます。

同 意 書

公立大学法人県立広島大学
理事長選考会議議長 様

公立大学法人県立広島大学理事長候補者の選考対象者として推薦されることに同意します。

平成 22 年 9 月 23 日

住 所



氏

名

野上 智行

